

【回答者：町長】

【提案等の内容】

主題： 西会津の今後について

内容： お世話になります。近年、西会津町の人口減少は大変深刻と思います。私も西会津の出身ですが、小・中学校統合となり、まさしく少子高齢化に歯止めがかからない状態と言えらと思います。

私が思うことは、中学生が卒業後、喜多方や若松の高校に進学する子供が多いと言うこと。やはり、親御さんは、学力を重視しているのではないかと思います。町も西会津高校の学力向上に務めれば、子供たちの流出もせず、国立大学などの合格実績によっては、県外からの入学希望者も期待出来るのでは。そのためには、子供たちには手厚い教育を実現しなくてはいけない為、役場自体は、傷みを伴うと思います。いかがでしょうか？

(50歳代 男性)

【回答】

西会津高校卒業生は、会津大学をはじめ各種大学、専門学校に入学しています。将来どういう道に進むかで大学の選択もあり、また、就職を希望している生徒もいます。西会津高校では、こうした生徒の希望によって専門の指導や支援をしています。地元の高校よりも他の高校に行くことに優位性を感じたり、あるいは部活などによって選ぶ傾向もあります。

問題は何処の高校を出たかではなくて、何をしたいか目指すのかが大切であり、明確な目標を持った生徒が将来、立派に自立すると思います。西会津高校はそうした生徒を輩出しています。町としては学力向上や通学費補助、生徒会活動費、奨学金の無利子貸与など約1千万円の支援を行い、町長を先頭に「西会津高校活性化対策協議会」を設置して将来とも存続するため取り組んでいます。

(平成27年1月27日公表)